

コロナから命、暮らしを守る市政に



日本共産党 伊勢崎市議会議員

長 谷 田 き み こ

はせだ公子

お困りごと・ご相談はお気軽に携帯まで
☎070-5564-6271

市議団
ブログ



はせだ
ツイッター



活動の紹介



「車に乗れなくても安心してらせるまちに」の署名を市長に提出（左から市民団体の皆さん、臂泰雄市長、北島・長谷田市議）。新年度からの高齢者タクシー券の条件緩和など、前向きな回答がありました。



↑毎月第4月曜日は
無料法律相談。
生活相談はいつでも
受け付け中。

→カーブミラー設置で
事故防止に



憲法を守り、いかす市政に

今、日本をアメリカのいうままに世界中で戦争できる国にしよう、岸田政権は憲法改悪の動きを強めています。「戦争する国づくり」が、くらし・福祉の予算を削り人が人として生きられる土台を大きく崩すこと、市民福祉向上を第一の目的とする市政にとっても重大事態であることを、私たちは知っています。

市民のくらしに一番身近な市政の場から、「憲法と平和を守れ」の声を多くの皆さんと一緒にあげていきま

す。「現場を知っているからこそ、具体的に豊かな提案ができる」—そう言っていただけに、いっそう頑張りたいと思います。

ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

市議会議員 はせだ公子



街頭からかかさず市政報告

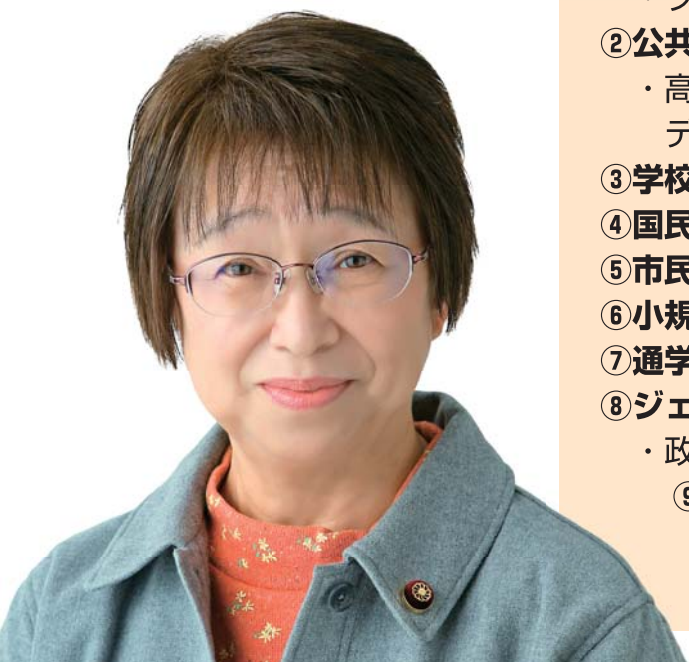
はせだ公子プロフィール

- 1958年静岡市生まれ。結婚で夫の郷里、伊勢崎市に。
- いぶき学習塾運営。私立高校講師。
- 働く母親の一人として乳幼児医療費無料化や学童保育所づくり運動に参加。1997年市議補選出馬。1999年より市議。
- 群馬大学大学院教育学研究科卒。
- 家族は夫・2女・夫の弟・猫3匹。八幡町44番地。携帯070-5564-6271。
- 市議会文教福祉常任委員・議会運営委委員。
- 新日本婦人の会伊勢崎支部委員・伊勢崎佐波社会保障推進協議会及び群馬県社会保障推進協議会事務局次長。

いせさき民報

ご意見・ご感想をお寄せください。
2022年2・3月号外
発行/日本共産党伊勢崎佐波地区委員会
〒372-0032 伊勢崎市北千木町2087
電話 25-4854 / fax 24-8204

はせだ公子のお約束



みなさんと力を合わせ実現目指します

- ① **コロナから市民の命と暮らし、営業を守る市政**
 - ・いつでもだれでも無料でPCR検査が受けられる体制。
 - ・くらしの厳しい世帯や事業者へ継続的な支援の実施。
 - ・フードバンク、子ども食堂などボランティアまかせにしない。
- ② **公共交通の充実で安心して暮らせる伊勢崎市へ**
 - ・高齢者タクシー券の対象や枚数の拡大。電話で予約すると迎えに来るデマンド交通の導入など。
- ③ **学校給食費の無料化、高校卒業までの医療費無料化**
- ④ **国民健康保険税の子どもや障害者の均等割廃止、介護保険の負担軽減**
- ⑤ **市民や利用者の声を無視した公共施設の削減計画の中止**
- ⑥ **小規模企業振興条例をつくり地域の産業を守り、発展させる**
- ⑦ **通学路の安全対策、歩行者・自転車・車椅子にやさしい道路を**
- ⑧ **ジェンダー平等の伊勢崎に**
 - ・政策決定の場の女性比率向上。パートナーシップ制度確立など。
- ⑨ **防災と環境に強い伊勢崎市に**
 - ・防災対策・避難体制の確立・強化。地球温暖化防止計画の改定と充実。

期待します

いのちを救う議員です



社会保障の改悪の中で、寄せられる相談にいつも親身に素早く対応してくれるはせだ市議は、市民の命と暮らしの守り手として、無くてはならない議員です。

伊勢崎佐波社会保障推進協議会会長 関根 洋

ジェンダー平等と平和の願い実現を

はせださんとともに、「子どもの医療費無料化広げて」「学校給食費は無料に」など、様々な取り組みを進めてきました。

非正規・低賃金が多い女性にとって、生涯にわたる公的支援の充実が欠かせません。その端緒として、県は県有施設の全トイレに生理ナプキンを置きました。伊勢崎市でも学校を始めとした市有施設への配置を、ぜひ、進めて欲しいと思います。

平和と人権の土台となる「憲法守れ」の願いをしっかりと受けとめてがんばるはせださんを、再び議会に送りましょう！

新日本婦人の会伊勢崎支部長 石原素子



「公ちゃん」ってどんな人？ はせだ公子 さんはこんな人！

静岡生まれの上州女

生まれ育った静岡の大学で夫と出会い、卒業と同時に伊勢崎へ。今では、すっかり上州女らしくなりました。

夫婦で学習塾運営

子ども達によりそう

夫といぶき学習塾を運営。群大大学院卒業後は高校講師も。多くの子ども達とふれあい、寄り添ってきました。

子どもの医療費無料化

学童保育所づくりに奔走

1歳未満児だった医療費無料化。取り組みを広げ、伊勢崎市は全県のトップを切り3歳未満児に。その後の運動で今では県として中学校卒業までに。

学道保育所づくりの運動にもかかわらず、地元の北二小を含め7ヶ所の立ち上げを支援。様々な補助制度も拡充させました。

次女4歳の時、市議補選出馬

2年後の本選で市議会へ

介護保険料減免・利用料助成要介護の方は税控除の対象に

議員となった翌年度から始めた介護保険。保険料や利用料の負担軽減策を作らせました。要介護だと障害者と同じ税控除が適用される仕組みも実現。国の制度改悪を、現場でくいとめる提案も。

住宅リフォーム助成

制度提案し実現に

業者にも市民にもメリットがあり、地域経済を活性化する住宅リフォーム助成。何度も一般質問で取り上げ、実現に結びつけました。

生活相談は4年間で約500件

「困っている人に、とことん寄り添う議員」です！

就学援助充実、

学校給食費第3子無料化や

高齢者タクシー券も

基準があいまいで他市より受給が格段に少なかった就学援助。基準の明確化、すべての小中学生への説明・申請書配布でたくさんの子も達が対象になりました。給食費助成も3年前から第3子以降対象で実現。所得制限や後払いが新年度からようやく改善されます。

旧境町にあった高齢者タクシー券を市全域で再開させ、これも、新年度から同居や隣居の子どもが車に乗っていても対象となる改善が約束されました。

いつも、市民要望の実現に粘り強く取り組むのが、はせだ市議です。

